

ひかりかがやくきみたちへ

（本の先生より みなさんに贈る詩）

わたしたちは星くず
色とりどりに毎日光る
光る強さはみなおなじ

木の葉が笑う
日差しが揺れる
教科書忘れてしまった日でも
止まることなくながれる一日

季節がめぐり
眼差し変わり
言葉も変わる
背たけも変わる

のがれられない
魔法のように
少し哀しく
まぶしいほどに輝かしい

ときには思い描いた黒い剣で
試さないとすまないときも
あるかもしれない
だけど君の光は君の外側にはない
光はすぐそこにある

君の光は
君の心の中だけに
君の心の中にある
君だけの光と
君はときどき
話してみればきつとわかる

成長する有機体
望みあれ
誇りあれ
光あれ

